

Topics

東農大、食品安全研究センター開設

東京農業大は、東京都世田谷区の「世田谷キャンパス」に食品安全研究センターを開設した。写真、東農大提供。食品の安全性に関する教育、開発、コンサルティングやリスクコミュニケーションなどの活動を担う。

センターは4月1日にオープン。食品の生産、加工、流通のほか、栄養、健康といった幅広い領域をカバーしている東農大の研究に、同じ学校法人の傘下にある東京情報大（千葉市若葉区）が持つ情報と看護のデータサイエンスを融合させるとしている。

センター長を務める五十君静信教授ら両大



学の教員など約40人が指導、研究に当たっており、食の安全と安心を巡る情報発信も加速させていくという。

5月9日には、世田谷キャンパスで開設記念講演会があり、東農大の大澤貫寿理事長が「食を取り巻く環境は大きく変化している。研究センターの活動を、食の安全を通しての社会貢献の一歩としたい」とあいさつした。